



なんてはっ
ええ〜大吉ではっ!!!



青井阿蘇神社 初詣



1月~3月の
できごと

鬼は外!
福は内!



ハイポーズ



こん鬼はやさしか〜♡



鬼さんいらっしゃい〜♡



福はは内〜!!!



鬼は外〜!!!



鬼と記念に...



🌸ひなまつり🌸



はなよいだんご〜♡



ひなだんにも負けんばい!



こっつおお になれます!



シニアリンクデパート
3月8日 出張販売♪
皆さん、ひさびさに
ショッピングを
楽しんでいただきました。



たくさんあるから悩むね〜



おいしかごたんね〜



夫婦仲良くお買い物



さあ〜 なにを買おう!!!



どれにしようかな〜



春

お花見

おはぎもありますよ～

たこ焼きいかが～

3月29日
お花見&お茶会が行われました('ω')。
洋菓子や和菓子15種類の中からお好
みのスイーツを選び召し上がって頂
きました♪
お天気も良く、園庭の桜も皆様の笑
顔も満開(/・ω・)/☆でした♪

お外で食べると
美味しいね～

美味しいよ～

おかわりしたよ～

2024/03

2024

ショートステイ

2月3月のお楽しみタイムのあれこれです。



園庭の桃の花見。天気も良く気持ちよい時間でした。



お雛飾りと並んで



ベランダに出て日光浴



中庭で。元気いっぱい！！



衣料品出張販売でお買い物



初めてのピアノの連弾

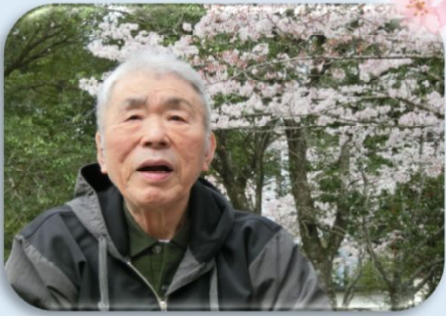


こちらも初めての挑戦



怪我されている手でリハビリ

園庭の桜を見にお連れしました。桜も皆さんの笑顔も素敵でした。😊😊



デイサービスセンター



祝 100 歳 おめでとう
ございます



これから元気に
過ごされて下さい。

祝 100 歳 おめでとう
ございます



百歳を迎えられ、
皆さんと一緒に
お祝いしました！

さくら満開
お花見
お花見



龍生園 だより 最終号のお知らせ



昭和54年、龍生園便りを創刊

特別編集 龍生園便り
特別編集 龍生園便り

〇 創刊して今年で50年が過ぎました。振り返ると、昭和54年4月の創刊号から、毎月発行の便りを通して、龍生園の日常や行事、そして皆さんの生活の様子を伝えることができました。この50年、龍生園の成長と共に、皆さんのご愛読のおかげで、この便りが支えられてきました。これからも、龍生園の最新情報や皆さんの声をお届けしていきます。

龍生園 だより 春号

社団法人 龍生園 編集長 龍生園 編集長 龍生園 編集長

〒988-0005 宮城県仙台市青葉区下田町字田字田字宮野1057-7
TEL: 098-622-5621 FAX: 0986-22-5622
URL: http://www.ryuseien.com/ryuseien/ E-mail: ryuseien@ryuseien.com

本号1冊 本号2冊 本号3冊 本号4冊

本号1冊 本号2冊 本号3冊 本号4冊

龍生園 だより 新年号

社団法人 龍生園 編集長 龍生園 編集長 龍生園 編集長

〒988-0005 宮城県仙台市青葉区下田町字田字宮野1057番地の9
・特別編集 龍生園 編集長 龍生園 編集長 龍生園 編集長
・通所介護事業部 / 在宅介護支援事業部 TEL: 0986-22-5621 FAX: 0986-22-5622
・E-mail: ryuseien@ryuseien.com

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昭和54年より当初は手書きで発行し、本号で361回目の発行となる龍生園だよりですが、情報発信の方法が多岐に渡るようになった昨今の状況やSDGsの取り組みの一環として、本号を持って発行を終えさせていただくこととなりました。

今後はホームページやSNSで情報発信の強化を行い、日々の情報をタイムリーに発信してまいります。また、ご家族様におかれましては、ハガキとフォトレターを送付させていただいておりましたが、よりお一人おひとりの暮らしが分かるように、一本化を検討しております。

長きにわたり、龍生園だよりをご愛読いただき誠にありがとうございました。



2024/05/27

面会方法の変更について

令和6年5月1日より

- ・場所：居室
- ・頻度：制限なし

※ご家族様は同封の別紙

【令和6年5月1日からの面会方法について】
にてご確認をお願いいたします。



2024/05/27

編集後記

3月23日JR九州の観光列車「SL人吉」が、博多駅から熊本駅までのラストランを迎えました。ちょうどその頃熊本本市におり、姿は見えなかったのですが「ポーター」という蒸気機関車の汽笛が聞こえ、とても懐かしい気持ちになりました。

龍生園でも春先になると満開の桜が咲き、それに並行するかのよう汽笛と黒煙を上げながら雄大に走る姿が見られており黒煙が施設内の廊下に入ってくる事も思い出されます。

引退後は人吉市に寄贈されるとあり、その日が来るのを楽しみに待ちたいと思います。

尾崎

担当よりご家族へ



※本紙に掲載している写真、名前など個人情報については、事前にご本人又はご家族より承諾を得て掲載しております。